

2020.10.04 「聖書預言・アップデート/しかし、神は」

<https://www.youtube.com/watch?v=evKImIk0IVk&t=2905s>

『しかし、神は...』おはようございます。毎週日曜日の、「預言・アップデート」へようこそ。第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」の学びに捧げています。第二礼拝は、神の御言葉を聖書を書ごと、章ごと、節ごとに学ぶ「聖書の学び」です。皆さん可能であれば、ご参加されることをお勧めします。第二礼拝は、ハワイ時間の午前11時15分からで、現在、「第一テモテへの手紙」を学んでいます。主の御心なら、今日は5章を学び終えます。神の民が礼拝し交流するために、教会を霊的に健全で安全にするための特徴を見ていきます。皆さん是非、第二礼拝もご参加されることをお勧めします。そして、お知らせがあります。以前からお伝えしていましたが、私たちは大変ワクワクしていて、皆さんにはこの為にお祈り頂いていただいていたのですが、新しいウェブサイト「jdfarag.org」を開設します。このサイトへのリンクは、この動画の説明欄の下部にあります。このリンクをクリックし、表示画面の下部にe-mailアドレスを入力されると、登録されて通知が受け取れるようになります。e-mailアドレスを入力されてもすぐに通知は来ませんが、ウェブサイトが開設され次第、私たちが投稿する度に通知を受け取れるようになります。このサイトが、“Go-Toサイト”になることを願っています。そう遠くない将来に、YouTubeが私たちを検閲する懸念があり、今までされていなかったのは、神の恵み以外にないと信じています。ですから、そういうことが起こった時にこのサイトをご覧いただけるよう、是非登録していただきたいと思います。では、本題に入りましょう。取り組むことがたくさんあります。ということで、始めます。今日のアップデートで、主が私に話させたいと感じたのは、私が聖書の中で最も力強いと思う、ある2語についてです。画面をご覧ください。『しかし、神は...』私が力強いと言うのは、この2語がどんな状況をも変えられるからです。どんなに悪い状況だとしてもです。皆さん、こんにちの世の中の状況が、いかに悪くなっていったかについて、同意されると思います。日ごとに、どんどん危うさが増しています。『しかし、神は...』『しかし、神は...』この終わりの時代に多くの人を救いへ導くために、それを善に変えておられるのです。今起こっている全ての事は、実際には良い事で、踏み込んで言うと、神の御業でさえあります。なぜなら、こんにち私たちの目の前にあるのは、かつて見たこともないような、またとない最大で絶好の機会だからです。それは、日々全ての人を、イエスに近づける事です。遡る3月にこれが起こった時、主が私を導き、私の心に刻んでくださったのは、焦点を合わせ直す必要があります。私たちがそうしていなかったわけではないのですが、まだ時間があるうちに、「聖書預言・アップデート」を通して、可能な限りの多くの人々をイエスに導くことを優先しなければならないと思いました。38年間の主との歩みの人生の中で、ここのところ実感しているような緊急性を感じた事は、かつて一度もありませんでした。それが、私が話したい事であり、また私たちが今日見ていく全ては、共通して、この一言につきます。「イエスの下へ辿り着くこと」肝心なのはイエスであること。こんにち、世の中に、あらゆることが起こっていて、神はそれをお許しになっています。「でも牧師先生、本当に悪いのです。」「知っています。」「本当に本当に悪いのです。」「本当に本当に分かっています。」『しかし、神は...』まったくもって、栄光のこちら側にいる私たちには、この全てが始まって以来、どれだけ多くの人々が、キリストに辿り着いたかを垣間見る事も、想像さえもできないと確信しています。先週家内が、主と彼女との時間について話してくれていました。その時彼女は、興味深いことを言いました。「私、主に、私の我儘を許していただけるようお願いしなければならなかったの。」私は、敬虔な夫ですから、「ようやく気づいたのか」と思いました。いやいや、そうではありません。「神が君に気づかせてくださるのをずっと祈って来たんだ〜！」いえ、そうでもありません。冗談です。頼みますよ。牧師は皆、完全な結婚生活を送っているとご存知でしょう。稲妻が落ちないか気をつけないようにしないと…家内は、こう言いました。「私、神に許していただけるようお願いしなければいけなかったの。自分勝手だけど、主に今すぐ戻って来てほしいから。でも、

私心の無い主が 私の心に語りかけて言われたのは、『あなたを連れ出す前に、私には、御国に連れて行きたい人がまだ多くいるのだよ。』私にとって、それは力強く感じました。ほろ苦くありませんか？正直になれば、ほろ苦いと認めざるを得ないと思います。多くの人々が言います。「主はあの時、あるいはこの時に戻ってこられると思ったのに。」70年代、人々は、主が戻ってこられて 教会携挙されると思っていました。主があの時戻ってこられなくて、私は本当によかったです。私は、1982年まで救われなかったので、取り残されたでしょうから。いかがでしょうか。皆さんはどうですか？ そう考えてみてください。こんにち、世の中で起こっているあらゆることのお陰で、何人の方が、イエス・キリストの救いへ辿り着いたか 考えてみてください。では、皆さん間違いなく、大統領が COVID-19/コロナウイルスに感染したという 速報はすでに耳にされたでしょう。その後、金曜日に、入院されました。皆さんのご想像通り、誰もがこのことについて 話しています。それには正当な理由があると理解しています。なぜなら、今日から 30日後の大統領選挙後、全面的な内戦が起こる脅威を示唆しているからです。しかしながら、誰もがここ米国における 大統領と来たる選挙について話していますが、現実を語っている人は、殆どいないようです。現実とはなんのでしょうか。現実とは、ここ米国だけではなく、世界規模で、COVID-19のために、失業・廃業により 景気の見通しが立っていない事です。統計を見れば一目瞭然で、米国の 廃業率は、60~70%と推定されています。分かりやすく言い換えてみましょう。ショッピングセンターやモールに行かれる時を 考えてみていただきたいのですが、10店舗あったうち、6~7店舗が閉鎖していて、もう二度と営業しないでしょう。企業オーナーだけでなく、その会社の従業員はどうでしょうか。今や仕事がないのです。収入がなく、生計が立たないのです。テキサス州サンアントニオで、食料無料配布に並ぶこの航空写真が 物語っています。約 10000 台の車両が写っています。これは 10000 台の車だけで、車内には各世帯の代表者がいます。食料を調達するためだけに、大変長い列に並んでいるのです。食料無料配布の駐車場は満車である一方、病院の駐車場は空っぽです。写真は、ワシントン州のトリオス病院で 3月に撮影された写真です。そしてこれは、インディアナ州ミシガン市のフランシスコ会病院です。医療業界の方々と話す機会がありました。彼らが仰ったのは、病院は、経済面で大逆行現象を経験していて、医師は、かなり大幅な減俸を余儀なくされています。世界経済だけではなく、世界政府も崩壊しています。これは、カーネギー国際平和基金の ウェブサイトのスクリーンショットで、世界的反政府デモを追跡しています。この動画の説明欄下部にも、このサイトへのリンクがあります。「10月1日現在、一引用中一 約 100 の重大な反政府デモが世界中で勃発している。（これをお聞きください。）その結果、約 30 国家の政府や指導者が、没落した。」先ほどの食料無料配布の行列、この抗議デモは、人生がひっくり返ってしまった人々の、未曾有の絶望の証拠です。そして、さらに悪い事に、この先何週間がどうなるのかを考える時、間違いなく恐怖を感じます。さて、私が大変憂鬱で、暗い絵を描いているのは 分かっています。幾人かの方は、私を見ながら、「今日来てよかった。。。」真理はこうです。真理とは、聖書預言が私たちに、終わりの時代にまさにこういうことが起こると語っている事。間違いなく、私たちは終わりの時代にいます。聖書預言は、これが起こると語っているだけでなく、もっと重要なことに、これが起こる理由を語っています。すなわち神は、

「だれも滅びることがなく、全ての人が イエス・キリスト救いに辿り着くことを 望んでおられます。」
(第二ペテロ 3:9 参照)

それが事の裏にある理由です。確かに物事は、どんどん恐ろしくなっています。『しかし、神は...』神だけがお出来になる通りに、悪を用いて、私たちが想像さえできないような方法で、良い事の計らいとなさいます。しかしこれは、私たちが正しい位置に、『しかし、神は...』という言葉置くのを前提とします。その意味を説明します。「神がこの全てから良い事をもたらされるのは わかっている。」しかし”こんにちこの世で起こっている全てが どんどん悪化している。”それは逆です。こう言ってください。「こんにちこの世で起こっている全てが どんどん悪化している。”しかし、神は”この全てから良い事をもたらされる。”これは言葉遊びではありません。ご辛抱ください。こう言うおしまします。「神が提供されるのはわかっている。」しかし、”今月の家賃を払うお金がない。”あなたがさ

れていることがわかりますか？ あなたはたった今、危機と試練に最終決定権を与えたのです。最終決定権は神にあります。神が、万物を司り、制されるのです。あなたがこう仰るとき、「神が提供されるのはわかっている、”しかし、”、、、」その言葉を間違った場所に置いて、自分の人生における、奇跡を起こす神の御手を、縛ってしまっています。問題の方を大きくしてしまい、神を小さくしているからです。あなたはこう仰ります。「これは本当に本当に本当に悪いです。」その通りです。これは本当に本当に本当に悪いです。そして、これからもっともっとも悪化します。では、素敵な午後を。”しかし、神は”私は、それをひっくり返します。その状況がどうであれ、全体の様相を変えるのです。”しかし、神は、”を正しい位置に置くことで、神をおられるべき正しい位置へ戻したのです。これで私はただ座って、主の救いを見ることができるのです。まるでそれは、、、これが、つたな過ぎないのをお願いしますが、まるでそれは、神がこう仰る感じです。「今、”しかし、神は、”と言いましたか？」「はい、言いました。本当に悪い状況ですが、”しかし、あなたは、主は、”」「本当に？では私が今からすることを見ていなさい。」「私を見ていなさい。」「あなたは今、私が抵抗できないような招待状を送ってくれたのです。」「なぜならそれが私であり、私がどんなに良いかだからです。」私は、神が、この言葉を聞くために準備して待っておられるのを想像しています。神は、私たちの状況にご自分が押し入れられることは決してありません。私たちがお呼びして初めて、来ていただけるのです。創世記 50 章 20 節、私のお気に入りの聖書箇所です。全ての箇所にしょっちゅうそう言っているのは分かっていますが、特にこの箇所。ヨセフが、兄弟に話している場面です。このような兄弟がいれば、他に敵など要りません。彼らは、ヨセフを死に至るよう放置し、奴隷として売渡しました。彼らは、悪魔的な嫌悪を持って彼を憎んでいました。彼らがヨセフに嫉妬したために、悪魔的な憎悪が彼らの心に憑りついたのです。だから彼らは、これら全てのことをヨセフに対して行いました。そして、ヨセフが自分の正体を彼らに明かしたとき、兄弟たちは恐れおののきました。なぜならヨセフは、ファラオと並ぶほどに世界に知られる最高の権力者だからです。ヨセフが指を鳴らすだけで、彼らの首を飛ばせるのを、彼らは知っていたのです。彼らは完全にそうされると思っていたでしょう。ヨセフが兄弟に言っているのを、お聞きください。

「あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが（しかし）、神は、...それを善に変え、多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです。」（創世記 50：20）

皆さん、想像できますか？ 皆さんが、ヨセフの兄弟の一人で、もし彼が逆にこう言ったなら、「神が、こんにち多くの人々を救いへ導くため それを善に変えられたのを知っています。...”しかし、”あなた方は私に悪を謀らいました。」彼らは思ったでしょう。「その通り。もう終わりだ。私は終わる。」しかし、彼はそんな風には言いませんでした。「確かにあなたがたはわたしに悪を企みました。」ここが、皆さん要点です。「神は、あなた方が私にしたことを許可されたのです。」「『しかし、神は』、あなた方がしていること、あなた方がしたことを使って、こんにち多くの民の命を救うために、それを善に変えるのです。「使徒の働き」7章9節～10節、ヨセフについての参照聖句があります。

「この族長たちはヨセフをねたんで、エジプトへ（奴隷として）売ってしまいました。”しかし、神は”ヨセフを離れず、」「あらゆる苦難から助け出して、エジプト王ファラオのもとで恵みと知恵をお授けになりました。（使徒の働き 7：9）

「詩編 73 篇」木曜日の夜、これについて話しました。週中、木曜日の夜は、聖書の学び ちなみに現在「伝道者の書」です。「詩編 73 編」が興味深いのは、大変正直な詩だからです。この詩は、アサフの詩だと信じる人もいれば、ダビデの詩だと信じる人もいます。でも実際は、アサフがダビデのこの詩を書き写しました。それは問題ではありません。問題は、この詩人は、信仰の危機にあることについて 大変正直だからです。皆さん、彼の信仰の危機がどこから来るのか知れば 驚かれるかもしれません。彼は、神に逆らう者、奢る者の安泰を見えています。彼は、この事を見ていて、公平ではないと思っています。

主よ、私は、義の内を歩み、あなたの御前で誠実に歩んでいます。でもご覧ください。彼らは何の問題もない。彼らは悪の中の悪です。なぜでしょうか。そういう言い方はしてませんが、言い換えればそういう意味です。彼は、こうまでも言っています。「私は誠実に歩んで来た。」

「わたしは心を清く保ち 手を洗って潔白をしめしたが、むなしかった。」 (詩編 73:13)

一体それらに何の意味があるのでしょうか？ あの奢る者を見てください。あの神に逆らう者を見てください。そして私を見てください。彼らは、四六時中彼らは栄え、私には、四六時中 苦悩以外何もない。それは正しくありません。彼が主の聖所を訪れたとき、主が彼に、そういう者たちの終わりを 見せるまでは、です。そして彼は、言います。「主よ、お許してください。」と。それはとてもひどかったので、神の民をつまづかせてはいけないと、彼は誰とも話をしなかったほどです。彼の信仰の危機は、それほどまでに深刻だったのです。そしてその原因は、悪と奢る者が繁栄する様を 目にすることにあったのです。彼が、26節で言ってるのをお聞きください。

「わたしの肉もわたしの心も朽ちるであろう ” が (しかし)、神は” とこしえに私の心の岩 わたしに与えられた分。」 (詩編 73:26)

”しかし、神は” は、全てを変えます。「ピリピ人への手紙」2章27節、使徒パウロが手紙を書いています。

「本当に、彼は (エパフロディト) 死ぬほどの病気にかかりました。...しかし、神は...彼をあわれんでくださいました。彼だけでなく私もあわれんでくださり、...悲しみに悲しみが重ならないようにしていただきました。」 (ピリピ 2:27)

次は、究極の ”しかし、神は” です。「ローマ人への手紙」5章8節。皆さん、お好きなように何でも当てはめれます。私は、それが何でも気にしません。もちろん、気にかけてはいますが、、、言い方が間違っていましたね。これだから、私はメモに基づいて話すべきなのです。私は本当に気にかけています。よろしいですね？ でも皆さん、お好きなように何でも当てはめれます。「ローマ人への手紙」5章8節の前です。あなたがたの状況は大変困難で、大変厳しく、大変な辛苦です。それらをそこに当てはめるのです。そしてそれを踏まえて「ローマ人への手紙」5章8節を見ます。

「しかし、(神は)私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、...神は私たちに対するご自分の愛を 明らかにしておられます。」 (ローマ 5:8)

過度に単純化しているかもしれませんが、言わばそれが根底にあるものです。イエスは、皆さんを愛しておられます。決まり文句にしか聞こえないかもしれませんが。こんな風に言えばどうでしょう。イエスは、皆さんが大好きです。「彼が？」「はい。」「彼が私を好きなの？」「そうです。」愛という言葉よりも、好きという言葉の方が 印象的だと言う時代に生きているのは 悲しい事ではありませんか？ 愛が安っぽく、汚れて、平凡になっている。ありふれたことなので、私たちは耳を傾けません。しかし「神はあなたを好きなのです」と言うと、「神は私に怒っていないのですか？」「怒っていません。」私たちがすることで、神を怒らせるものは一つもありません。理由をご存知ですか？ 神は、彼の御怒りと憤怒の全てを、ご自分のひとり子に課せられたからです。神が彼をこの世に遣わされたのは、あなたのために命を捧げるほどに、世にいるあなたを愛しているからです。(ヨハネ 3:16 参照)そして、それが全てを変えるのです。”しかし、神は” を絶対に 正しい位置に置かなければなりません。よろしいですね？ さて、私たちは、”しかし、神は” を 正しい順序で置くことを構築しました。ここで、こんにち直面している危機に対処する 準備ができていると思います。3つあります1つ目。イスラエルとの平和協定を持って、イスラエルを破滅させる悪の目論見。2つ目。混沌から秩序を取り戻すという旗印の下、アメリカで組織化された混沌。因みに、皆さん1ドル札を出して、裏面を見てみてください。「混沌からの秩序」と書いてあります。3つ目。COVID-19の検査流行 (Test-demic) という火種を使って、世界経済・世界政府の解体。最後までお聞きください。感染症流行 (Pandemic)ではなく、検査流行 (Test-demic) と呼ぶことをお許してください。それは症例流行 (Case-demic)ですすらありません。検査流行 (Test-demic)です。検査流行 と呼ぶ理由は2つあります。1つ目は、現在のPCR 検

査は、偽の陽性反応を出しているだけでなく、ウイルスが活動的であるかどうか示していません。言い換えれば、COVID-19のPCR検査陽性は、症例と同じではないのです。症例というのは、感染症と診断された場合です。2つ目の理由。陽性反応の数と実際の死者数の間に大きな不均衡です。そしてその差はとてつもなく大きいです。CDC（アメリカ疾病予防管理センター）が認めるところでは、アメリカのCOVID-19による死因は、約1万人しかいません。COVID-19が死因ではないにも関わらず死亡診断書には死因としているケースを含めても、CDCが発表する生存率は、94.6%~99.99%です。手早く言わせていただきますが、私はウイルスがないと言っているのではありません。私が言っているのは、パンデミックはないということです。あるのは、検査流行（Test-demic）です。よろしい。では本題に入りましょう。今までは前置きです（笑）時計を見ないでください。何人かは、今見ておられますね。このために基礎を固めていました。すぐに理由が分かられると思います。イスラエルから始めましょう。神の預言の時刻。「聖書預言では、今がいつだと語っているのか？」知りたい方は、イスラエルを見てください。エルサレムを見てください。神殿の丘を見てください。ある方の、こんな表現方法が好きです。時計がイスラエル。分針がエルサレム。秒針が神殿の丘。それが神の預言時計の時刻です。そういう風に、聖書預言を理解するのがよいと思います。具体的には、ある競争に関連しています。これは競争です。最近の和平協定による、「平和と安全」に向けた競争です。聖書預言が私たちに語っているのは、7年間の和平合意があり、その中間時点の3.5年で、反キリストは、荒廃をもたらす忌まわしいことを行うことです。」しかし、神は”しかし、神は、7年間の患難時代の後半3.5年の間、神の民を守られます。これが黙示録で語られている事です。最後は、ユダヤ人国家の救い。これが患難時代の目的です。これはヤコブが経験する苦難の時です。ダニエル書にある「第70週目」です。（ダニエル書 9:24参照）教会にとってではありません。ヤコブ=イスラエルにとってです。ですから神は、彼の民、ユダヤ人を守られます。因みに、補足的に言わせていただくと、神は、ユダヤ人と契約を立てられています。神は、ユダヤ人を見捨てておられません。アラブ人がそう言っているのです。いかがでしょうか。ここがポイントです。神は、ユダヤ人と契約を持たれているのと同様、私や皆さんとも契約を持たれています。もし神がユダヤ人を見捨てておられるなら、皆さんはどうなるでしょう？よく考えてみてください。神は、ユダヤ人と契約を立てられています。神の民が、7年間の患難時代の終わりに、真の救世主の救いに辿り着くのです。それこそが患難時代の目的だからです。「ローマ人への手紙」11章25節から27節、

「兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と 考えないようにするために、この奥義を知らずにいてほしくはありません。...イスラエル人の一部が頑なになったのは 異邦人の満ちる時が来るまでであり、こうして、（お聞きください。）イスラエルはみな救われるのです。『救い出す者がシオンから現われ、ヤコブ（イスラエル）から不敬虔を除き去る。』（ローマ 11:25~27）

「これこそ、彼らと結ぶわたしの契約、すなわち、わたしが彼らの罪を取り除くときである』と書いてあるとおりです。」（ローマ 11:25~27）

「ゼカリヤ書」12章10節。

「わたしは、ダビデの言えとエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺したものを、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。」（ゼカリヤ 12:10）

これが、組織化され、演出されたアメリカの混沌に繋がっています。そしてアメリカの未来についてです。アメリカが、聖書預言のページから綺麗さっぱり消えているということです。アメリカがバビロンであると信じている人々がいるのも、はっきりと自覚しています。皆さんがなぜそう思われるのかも、理解できます。しかし、ここが問題です。預言では、終わりの時に、イスラエルと共に立ち上がる国はないと書かれています。「ゼカリヤ書12章」全ての地上の国々は、イスラエルに向かって集まって来る。（ゼカリヤ 12:3参照）「エゼキエル書38章」が興味深いのは、イスラエルを防衛する国がないだけでなく、神は、イスラエルに敵対し、侵略する連合国に、壊滅的な敗北をもたらすという結果

を伴われ、こう仰います。「私が彼らを、致命的な、奇跡的な、超自然的な方法で負かす。」「誰も自分の手柄にはできず、誰も、この栄光には手出しは出来ない。」なぜなら、私の栄光は誰にも渡さないからだ。」そして仰るのは、「その時彼らは、わたしが主であることを知る。」（エゼキエル 38：23 参照）彼らは、それ以外考えられないでしょう。なぜなら、考えてみてください。ここに、こんなちっちゃなイスラエルがあります。誰もイスラエルと共に立っていません。アメリカはどこでしょうか。そこにはもういません。ここに、こんなちっちゃなイスラエル。皆さん、侵略してくる国々の地図を最近見られたことがありますか？ ロシア・イラン・トルコ・及びその他の国々。では地図を見てください。ここがロシア〜〜（こだま）この効果音、気に入りましたか？ トルコ〜〜（こだま）イラン〜〜（こだま）イスラエル。（ちっちゃいです）彼らはこぞってイスラエルを侵略し、イスラエルは、勝利を勝ち取ります。どのようにでしょうか？”しかし、神は。”それが方法です。それしかありません。つまり、アメリカは…あるいはお望みならばバビロンと呼びますが、人々は全てを失いました。よろしい。崩壊します。”しかし、神は。”これを用いて、多くの人々を真の生ける神へ導き、立ち返らされます。最後までお聞きください。神は、これを用いて、人々を彼に導かれます。人々を彼に、立ち返らされます。人々は全てを失いました。それは良かったです！「まあ牧師先生。愛はあるのですか？」違います。最後まで聞いて下さい。ある有名な方は仰っていました。「持っているものがイエスだけになるまでは、あなたにとって必要なのはイエスだけであるとは決してわかりません。」敢えて言いますと、アメリカは、今まで裕福過ぎたのです。だから私たちは軟弱過ぎるのです。快適過ぎて、裕福過ぎたからです。イスラエルが神を見捨て、神を忘れたのは、イスラエルは裕福過ぎたからです。旧約聖書を通して、その繰り返しです。神はイスラエルを祝福され、彼らは繁栄し、そして神を忘れる。神は、彼らの注意を引かなければなりません。そのため、敵国の捕囚となることを許されるのです。彼らは悔い改め、神が彼らを連れ戻し、回復させ、彼らはまた快適になる。そして神が、彼らを祝福され、再び彼らは神を忘れ、また捕囚となる。イスラエル人に厳しくなってはいけません。私たちも、自分の人生を考えると同様です。違いますか？ 聖書には、いかに神が、苦難をお許しになり、用いられるかについて、数々の箇所があります。人々を彼の下へ導くために、彼に立ち返らせるためです。私は何年にもわたって、言い続けてきました。教会を成長させたいならば、教会を迫害しないで。同時に、「どうか教会を迫害しないでください。」と言っている自分もいますが。今日のアップデートの準備をするために、主と共に時間を過ごしていました。本音を話そうと思います。ただ皆さんに分ち合います。こんにちのアメリカの教会は、ふるいにかけています。逆境や迫害が、実にそれを物語っています。極端な言い方をすれば、これらのことから分かるのは、生ぬるいラオディキアの教会なのか、迫害されているスミルナの教会なのか、という明確な描写です。私が言いたいことはお分かりだと思います。黙示録 2 章 3 章を見ます。7つの教会宛ての、7つの手紙です。7つの教会の内の2番目がスミルナ。7番目がラオディキアです。スミルナが、迫害されていた教会で、ラオディキアが、生ぬるい教会です。この2つの教会の何が興味深いかというと、因みに、後で話しますが、スミルナとフィラデルフィアの2つの教会は、7つの教会の中で、唯一 イエスに叱責されません。それ以外の5つは？（感嘆）特にラオディキアは…（ひどい叱責を受けています。）理由をご存知ですか？ ラオディキアは、大変繁栄していたからです。彼らは大変順調でした。彼らは富んでいて、物事はとても順調で、そして彼らは神をすっかり忘れてしまったのです。そのあまり、もはやイエスは、彼らの教会の中におられません。イエスはどこでしょうか？ 彼は、外に立たれ、中に入ろうと扉を叩いておられます。ラオディキアの前に書かれている6つの教会は、エペソにある教会の御使い宛て、スミルナにある教会の御使い宛て、ティアティアラにある教会の御使い宛て、ペルガモンにある教会の御使い宛て、サルデイスにある教会の御使い宛て、フィラデルフィアにある教会の御使い宛て、しかし、ラオディキアに來ると、”ラオディキアの”教会の御使い宛て。（KJV 訳参照）お分かりですか？ 他の6つと違います。どういう意味でしょうか？ 「それは、もはや私（イエス）の教会ではない。」ということです。それは、彼らの教会です。名前そのままです。ラオディキア (Laodicea) というのは、

俗人(Laity)と教区(Diocese)という2語の組み合わせです。言い換えれば、俗人が統制し、俗人が決定する。「仕切っているのは彼らで、私ではない。」「私は追い出されたのだ。もはや私は歓迎されていない。」

「だから私は、中に戻って、彼らが、私と共に食事をするように、戸口に立っているのだ。」(黙示録 3:20 参照)

なぜイエスが外に立っておられるのでしょうか？ なぜなら… 皆さんこのような教会をご存知ですか？ びっくりします。現代的でトレンドイヤーな教会です。因みに、教会として認識するのは非常に難しいかもしれません。実際、ロックコンサートみたいです。とにかく、そこはトレンドイヤーな場所です。スミルナの教会と比べてみてください。皆さん、スミルナという名前の意味をご存知ですか？ 没薬・ハーブの由来で、砕くまでは、苦い薬草です。砕くと、壮麗な香りを放ちます。これは、砕かれ、迫害された教会です。何が本当に興味深いかというと、スミルナは、貧しいけれど富んでいます。その一方 ラオディキアは、富んでいるが貧しいのです。黙示録2章9節をお聞きください。スミルナです。

「わたしは、あなたの苦難と貧しさを知っている。だが、あなたは富んでいるのだ。」(黙示録 2:9)

黙示録3章17節。ラオディキアです。

「あなたは、『自分は富んでいる、豊かになった、足りないものは何もない』と言っているが、… イエスでさえも不要なのは、一目瞭然です。… 実はみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸であることが分かっていない。」(黙示録 3:17)

そうなるのです。私たちは、繁栄し、富を得ると、何も要らなくなります。胸が張り裂けるのが、こんなにちの危機が、ラオディキアの教会を露呈しているということです。特に、ここアメリカで。皆さん、他国や中東を見てみてください。私は、父の出身地、エジプトを考えます。私は実は、Youtubeチャンネルの「Better Life」を登録しています。彼らはエジプト人の兄弟姉妹です。彼らの礼拝動画は、涙を抑えきれなくなり、見ていられないのです。私は、ある意味では励まされますが、同時に大変恥じ入ります。彼らは、涙を流しながら賛美しているのです。ただイエスに。イエスだけに。彼らにはイエスしかいないのです。こう考えることが適切ではないでしょうか？ 神が今をお許しになっている他でもない理由は、ラオディキア教会が悔い改めるためであると。1番目のエペソにある教会を考えてみます。約35年がたって、彼らは、初めの愛から離れてしまいました。失ったものではありません。離れたのです。違いがあります。意図的だからです。失うのは、意図的ではなく、離れるのは、意図的です。初めの愛から離れてしまったのです。イエスは仰います。「初めのころの行いに戻りなさい。」(黙示録 2:5 参照) 初めの愛。初めて恋に落ちた時。なんとすばらしいでしょう。因みにこれは、結婚に関して最高の手紙です。「もう愛していないんです。」「本当ですか？」「もう今はそんな気持ちはないんです。」そうですか？ 気分次第なのですか？ 彼女に求愛していた時の、初めの行いに戻りなさい。「そんな気にならないです。」「気持ちはついて来ます。みてみなさい。」初めの頃に上手く行っていた、初めの行いに立ち戻りなさい。悔い改め (Repent)、立ち戻り (Return)、繰り返しなさい (Repeat)。自分が最初にしたことをしなさい。そして何が起こるか見てみなさい。皆さんが初めてキリストの下に来た時を覚えていますか？ なんとということでしょう。妻と私は、2年付き合い、結婚して32年…だと思えます。妻がここにいないでよかったです。間違っていたら大変です。私たちが結婚当初、どのように会話をしていたかを写したビデオを持っています。なんと若々しいでしょう。パンプキン♡などのニックネームをご存知でしょう。スイートパイ♡ 君の為に扉を開けさせて～ 32年経った今は、「さっさと車に乗れ！遅れるじゃないか！一体何をしてるのだ！！」主に対しても、然り。非難ではありません、恐らく確信です。最後に述べますが、決して軽んずべきものではありません。前述の、COVID-19 検査流行についてです。私が心から確信するのは、それが、7年間の患難時代へと繋がるということです。私がそう思う理由は、一旦、世界政府と世界経済が崩壊すると、偉大な再設定が起こります。彼らがそれを、”偉大な再設定”と呼んでいます。中核にあるのは、既に、技術が存在する、”グローバルデジ

タル通貨”です。そして、再度、黙示録13章が語る、7年間の患難時代の間接点で、反キリストが、自分を崇拜するよう強要し、全ての人に額または右手に刻印を押させ、それがなければ物を売買できないようになります。（黙示録13：15～17参照）先週、皆さん恐らくお聞きなっただろうが、大変興味深いのは、アマゾンが、Amazon One というものを発表しました。引用すると、「手のひらで払えます。一つのスキャンで全てが可能です。」というものです。なんと便利な事でしょう。引用します。「Amazon One が、日常のやり取りをシンプルにする。掌で支払入力し、身分証明する ”非接触無料サービス。”」皆さんお気づきですか？ ID2020（21、すみません）は、地上の全ての人・全ての物に、デジタルIDを付けるのです。そして追跡されるのです。恐れを抱かせるため、言っているではありません。神は私たちに恐れを授けておられません。力と愛と健全な霊を与えられます。しかしこんにち、スーパーに行くときは、マスクをしなければなりません。来たる日には、そしてその日は私たちの誰もが想像するよりもずっとまもなくだと確信していますが、マスクの代わりに、マーク（しるし・刻印）になります。「ご家庭用に食料の買い出しですか？」「しるし・刻印が必要です。」ワクチン接種の証明を見せる必要があります。ワクチンの中にID、印を入れることができる技術があります。必要なすべては、このAmazon One のようなものだけです。外出するのに他に何も必要なくなります。携帯電話さえ不要です。もうここ（手の中）にあります。こういう風に掌か額です。既に今、人々は体温計を額にあてて体温を測りますよね。私だけでしょうか、本当に不気味な感じがします。プライバシーを侵害された気分です。額には、何も入っていません。チップもインプラントも入ってないんです。額で測る必要はありません。測りたいなら、手の甲で測れますから。全ては条件を整えるためです。実は、信憑性のために、まだこれを調査しようとしています。社会的な距離感が6フィート、マスク着用、手洗いという全ては、実に悪魔的儀式的可能性があります。なぜ5フィートか、7フィートじゃないのかと思われませんか？なぜ6フィートなのか？マスクというのは何でしょう？手を洗うというのは？全て条件を整えるためです。儀式の一部です。形質転換のために隔離し、そして、ついに変革。それが今起こっています。”しかし、神は。”しかし、神は。7年間の患難時代の前に、教会を携挙されます。全世界に起ころうとすることから、私たちを守られます。黙示録3章10節。フィラデルフィア宛ての手紙です。イエスに叱責されなかった、2つの教会の内の、2つ目です。イエスが仰ることを、ヨハネはこう書いています。

「あなたは忍耐について わたしのことばを守ったので、地上に住む人々を試すため 全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。」（黙示録 3：10）

あなたを守り、その前に連れ出す。さて、答える必要がある疑問があります。クリスチャンは、患難前携挙までもっとひどい目に遭うのかどうかです。それは、既にそうなっています。さらに悪くなるとすれば…そしてそうなる可能性が高いですが、神は、私たちが通らねばならない、何事からも、私たちを乗り越えさせてくださいます。どんなに酷くても、どれほど悪くなくてもです私たちの娘、ノエルが死んだとき、主は…実際に声が聞こえたわけではなく、聞こえる必要もないのですが、はっきりと私に語りかけました。彼は私にこう仰いました。子供をなくすという、言葉にならない痛み、嘆き、悲しみの中で、彼は私にこう仰いました。「どれほど悪いことがあっても、私がどれほど良いのかは、決して変わらない。これはあなたの人生の決定づけるものではない。それは私が決めることだ。なぜなら、私が神だから。」「ええ。でも娘は死にました。」「そうだ。”しかし神は。”しかし神は。」私は皆さんを励ましたいのです。もしも皆さんの中で、敵が頭の中にこのような考えを埋め込むのを許している人がいるのなら…敵は皆さんの思考を読めませんが 思考を攻撃してきます。そこが戦いの場だからです。ですから、すべての思いを尽くして、キリストに従うのです。敵は、皆さんの思考に、「もしも～なったら、、、」という考えを置きます。空欄には何でも入ります。あ～兄弟姉妹の皆さん。私がそうだったんです。本当に。私は、神の御言葉の権威の下で、皆さんを励ましたいのです。神は、皆さんを愛しておられます。敵をそれをさせてはいけません。敵は可能な限り、皆さんを引きずり降ろそ

うとします。皆さんがそれを許してしまった場合です。そして、こうなります。「どうしよう。どうすればいいの。」すると主が、「何をしていますのですか？もしもし？」「私は既に話しました。」

「もし私がそうでないなら、あなたがたに言ったのでしょうか。」（ヨハネ 14:2 参照）

「あなたがたは心を騒がせてはなりません。」（ヨハネ 14:1）

わたしがあなたがたを守るのです。」あなたがたを見捨てる？ あなたがたのためにしてきた全てを考えてみてください。私が、自分の事は自分でしなさいと言うと思うのですか？自分で何とかしなさい、頑張りなさいと？神がそうするとでも？パウロのローマ人宛ての手紙を考えます。ご自分の御子さえも惜しむことなく私たちの為に死に渡された神が、私たちに何を惜しまれるのでしょうか。（ローマ 8:33 参照）こういう風に考えさせてください。私たちは、信仰によって神を信頼しています。神のラッパの響きとともに、キリストにある死者がよみがえり、私たちは携挙されるのです。それでも今月の家賃の事では、神を信頼できないのですか？お分かりですか？神は、あなたを置き去りにしません。あなたを見捨てません。「でも牧師先生。本当に今、深刻なのです。もう限界です。」あなたは、”しかし、神は”を間違った場所に置いています。いいでしょう。もう限界です。”しかし、神は”彼は、あなたを置き去りにしません。決して、あなた見捨てません。第一テサロニケ 4章。ご指摘したいと思います。この箇所は、携挙と福音などが書かれた有名な箇所に含まれているため、見落とされることが多いです。第4章13節で、パウロはこう書いています。

「眠っている人たちについては、兄弟たち、あなたがたに知らずにいてほしくありません。あなたがたが、望みのない他の人々のように悲しまないためです。」（第一テサロニケ 4:13）

「イエスが死んで復活された、と私たちが信じているなら、—お聞きください— 神はまた同じように、イエスにあって眠った人たちを、イエスとともに連れてこられるはずです。」（第一テサロニケ 4:14）

分かりましたか？時々、私たちは、ここを読み飛ばしてしまいます。ここを見てください。携挙の時、まずキリストにある死者がよみがえります。これは、肉体の復活です。体を離れることは、主のもとに住むことです。（第二コリント 5:8）

彼らの霊は、今主と共にあり、携挙の時、それが栄光の体と結合するのです。それがまず先に起こります。

それから、生き残っている私たちが、引き上げられるのです。（第一テサロニケ 4:16~17 参照）

私は娘のノエルと再会するのです。完全な体で。私は母にも再会します。父にも会えることを願います。愛する全ての人と。彼らが、主と共に来るのです。主が私たちのために、来られる時に。皆さんの問題は、何でしたっけ？ごめんなさい。これは私だけなのかもしれません。これが、主が私と共になさることです。中には頭の固い人や、意固地で、頑固な人もいます。皆さんではありません。私自身について言っています。いやいや、頼みますよ。ご自分のことはお分かりでしょう。手を上げないでくださいよ。主は、皆さんがどういう人かご存知です。パチンと叩いてみたら...「私は何を考えていたのでしょうか。」となります。間違いなく、明確に理解できるようになりますね。「はい。最悪なんです。」しかし、神は”」。神は、、、全てを変えます。パウロが携挙について述べた後、

「ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」（第一テサロニケ 4:18）

これが福音です。これが良い知らせです。福音とはそういう意味です。イエスが来られ、あなたのために、わたしのために死なれ、葬られ、3日目によみがえられた。そして、彼はいつか戻ってこられます。まもなく、本当にまもなく。それが福音です。イエス・キリストの救いの良い知らせ。これが福音と「救いのABC」で締めくくる理由です。子供にでも分かる、簡単な救いの説明です。この数週間、オンラインメンバーから頂く証を共有しています。今日は、もう2つ共有したいと思います。皆さん、大変励まされるはず。この方は、テキサス州から、オンラインメンバーになって8年だそうです。

「子どもの頃、母方は虐待の家系でした。13歳の時、私は栄光に包まれ救われ、イエスは、私を元に戻してくださいました。陶工（主）が、壊れた全ての隙間を埋めてくださったのです。（イザヤ書 64:7）

それ以来、イエスは私のすべてです。そのような家系ゆえに、親族は多くが未信者であり、福音に対し、非常に敵対的です。私は理解できます。『愛する神なら、なぜ罪のない 私たち子供にそんなことが起こるのを許されたのか?』と。でも彼らは、神だけがそれを癒すことができる、ということを理解していません。そして神は、私たちの混乱(Mess)を用いて、そこからメッセージ(Message)を作り出されるということ。その家系の親類で、最も無神論者の一人が、最近私に、終わりの時について聞いて来ました。彼女は、兆候をみているのです。何かが起こっているのを知ったのです。衝撃と感謝とに圧倒されました。私は彼女と話し始め、JD牧師の「預言アップ」を送りました。2日前の夜、彼女は救われたと私に言いました。」ハレルヤ！（拍手）言うておきます。本当に本当に、神は、これを用いて、人々を彼の下へ導かれているのです。私たちは、私たちの中にある希望の答えを誰にでも与えられるよう用意しておくべきです。彼らはわたしたちを見えています。私たちについて、こう言います。「うわ〜 あの人は私たちみたいに恐れていない!!」「何が違うんだろう?」「さあさあ、私に聞いて聞いて聞いて!!」「電話して電話して電話して!! 教えるから。」「なぜ怖くないの?」「理由があるからです。」「これが私の望みです。私は救われているのです。」私たちにある望みという答えをあらゆる人々にも与えるのです。彼女は続けます。「今や彼女が、イエスを知っているのです。言葉もありません。こんなことが起こるなど思ってもみなかったです。そうです。信仰に欠けているのです。悲しいですね。」これは本当ではないでしょうか? 皆さんが救われるはずがないと思う人が、恐らく救われる人であるということは、タルシシュのサウロ(パウロ)を考えます。初代教会と共に、数々の記述があります「何だって?サウロ?? 嘘!危ない危ない。」「彼は救われたんだよ。完全にね。」「ありえない!タルシシュのサウロだ。」「いや彼は救われたんだ。」「絶対あり得ない。」「ありうるのです!」私がそう言うのは、あなたが絶対に救われるはずがないと思う人を、決して絶対に退けてはいけなからです。恐らく彼らこそ救われるはず。興味深いのが、私が一番難しいと思う人とは… もう終わりますのでご辛抱ください。私が一番難しいと思うのは、何にでも同意するような人たちです。「ええ、私は神を信じていますよ。」「ええ。」「そうイエス。」「そうそう。」「聖書ね。」「そうそう。」彼らとは前に進めません。どうしたらいいのでしょうか。私が最も手応えを感じるのは、闘争心満々の「嘘だ!!」という人達。「主よ、ここにもう一人います。」こんな言い回しがあります。『犬の群れに石を投げて、一番激しく吠える犬が一番ひどく石が当たった犬だ。』救われていないご友人を犬だと言っているではありません。要点はお分かりだと思います。彼女は続けます。「今日彼女が、息子さんの為に祈ってほしいと言いました。9月27日の預言アップを彼女に送り、彼女は、2人の息子さんにそれを送りました。JD兄弟、あなたの為に祈ります。あなたが私のようなか分かりませんが、私は善行を行う中で疲れてしまうことがあります。(私もです。)私は弱々しくなり、そうなることが嫌いです。でも、あなたに力が与えられるよう祈ります。これが励ましになることを祈ります。なぜならこれは奇跡だからです。イエス様、ありがとうございます。主イエスよ、早く来てください。イエスだけにおいて。」2通目、手短に行きます。南カリフォルニアのレニー・エリクソンさん。彼女は、ビルボードを2台購入した、フロリダ州セブリングの兄弟についてをシェアしたアップデート後に、メールをくださいました。その1つは、画面に出しますが、「救いのABC」です。もう1つが、「聖書預言・アップデート」です。どうも、これと同じことをするのにご興味られる方々がおられるのです。そして現在… (拍手) そうなんです。家内にはなしたら、彼女曰く、「何であろうと、その方々が、ビルボードにあなたの写真を載せないようにした方がいい。よろしくないもの。」皆さん、その際には、私の写真は載せないでください。「現在彼らは、3台設置しています。1台はロス(LA)、1台は北オレンジ郡、1台はアーカンソー州リトルロック、また、彼女は(これを聞いて下さい)コンプトン(LAにある犯罪の多い危険地区)にも一台設置するそうです。コンプトンですよ!! また他の場所への設置も準備中です。これは神だけがなせることです。繰り返しますが、今日私話した他のことは何もお聞きになられていなくても、これだけは聞いてください。神は、これを用いておられるのです。神が、私の様などんまを使われるなら、神は、誰だってお使いになられます。ただ神に委ねるので

す。委ねてください。私たちが、「救いのABC」をする理由は、誰かをキリストへ導く唯一方法だからではありません。因みに、人々をキリストへ導かなければならないではありません。それは私たちを多くの問題に巻き込みます。語り尽くせないプレッシャーを感じると、福音を伝えることができません。「彼らをキリストへ導かなければならない！膝まずき、両手をついて、祈って、キリストを受け取らせなければ！」「それができないなら失敗だ！」全く違います！！あなたは、種蒔きかもしれません。他の誰かが水をやる。そして、他の誰かが刈り取るのです。あなたは、誰かが蒔いた種に、水をやっているのかもしれませんが。そして、刈り取るという大変重要な特権を、神があなたに与えられる時もあります。魂を、イエス・キリストの救いへ導く高貴さに勝るものはありません。「救いのABC」は、福音を分かち合うための、子供にでも分かる簡単な方法です。A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。ローマ人への手紙 3 章 10 節、

「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマ 3：10）

ローマ人への手紙 3 章 23 節が理由を教えてください。

「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ 3：23）

ローマ書 6 章 23 節が興味深いのは、より良い言い方が見つかりませんが、先に悪い知らせが来て、それから良い知らせが来るというセットになっているのです。悪い知らせとは？ 罪への罰則があることです。私たちの誰しもが罪を犯して、今、私たちは評決を受けます。評決は、死刑宣告。それが、悪い知らせです。誰しもが罪びとで、

「罪が支払う報酬は死です。…」（ローマ 6：23a）

私たち誰しもが、罪びととして生まれたので、天の御国に入る為に、新生しなければなりません。どのようにしてでしょうか？それが良い知らせです。贈り物を受け取るのです。

「しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」（ローマ 6：23b）

贈り物なのです。支払い済の贈り物です。イエスが十字架の上で、全額支払ってくださったのです。イエスがご自分の命を代償に、全てを犠牲にして、全ての罪の代価を支払ってくださったのです。そして、永遠のいのちという贈り物を購入し、あらゆる人々が受け取るように差し出して下さっています。どうやって受け取るのでしょうか？信じる事です。それが、Bです。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9～10 節

「…心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）

そして最後に、C。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9～10 節、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10：10）

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』（ローマ 10：13）

ご起立ください。ご忍耐に感謝します。今日はいつもより長くなりました。そういうことは従来ないのですが、賛美チームが準備している間に、最後のお願いを言います。今日お越しになっておられる方、またはオンラインでご覧の方に、他に何といえいいかわかりませんが、主の御名を呼び求めたことのない方に、強く、切に願い、懇願します。今がその時です。今日が救いの日です。永遠のいのちのために、人生で最も重要な決断を先延ばしにしないでください。今日が救いの日です。今のうちに。いずれ

夜が来ます。もうあまり時間はありません。最後にお伝えします。もう時間がないのです。主の来臨は、もういつでも起こり得ます。祈りましょう。

天のお父様。ありがとうございます。聖書預言で、何が起こるかを 起こる前に教えてくださっている事に感謝します。これらのことが起こり始めたら、 未信者は信じ、信者は頭を上げ、 贖いが近づいているのを知ります。(ルカ 21:28 参照)

主よ。オンラインで見ている方、またここにおられる方で、あなたを呼び求めたことがない方々が、口で告白し、心で信じ、自分の罪を、救い主のあなたを必要であることを認識し、あなたに信頼を置くことを祈ります。今日がその日になりますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7